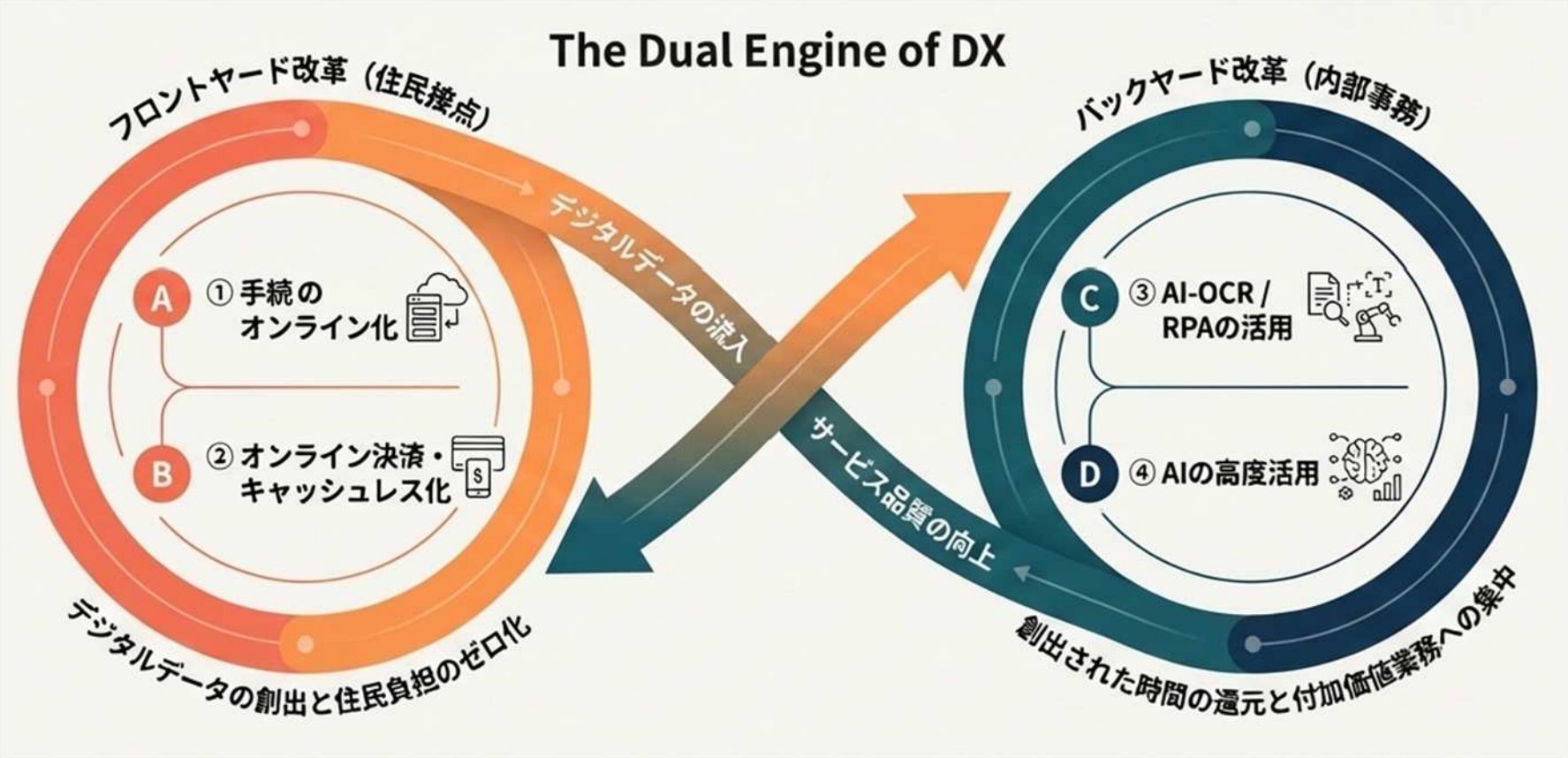


菊陽町
デジタルファースト推進計画
(第2.0版)
アクションプラン

令和8年5月
菊陽町

自治体DXをけん引する2つの改革エコシステム

フロントヤード（住民接点）のデジタル化が、バックヤード（内部事務）の自動化を加速。
この双方向の連動が、菊陽町のDXを推進するエンジンとなります。



(画像はNotebookLMが作成)

フロントヤード改革 さらなるオンライン化

目指す方向性：いつでも・どこでも・スマートフォンから

住民が「役場に行く時間」や「支払う時間」をゼロに。紙の申請や支払いをデジタルに置き換えることで、住民の負担軽減と同時に、行政側のデータ入力削減や職員の現金集計・釣銭準備などの付帯業務削減という双方向の価値を生み出します。



(画像はNotebookLMが作成)

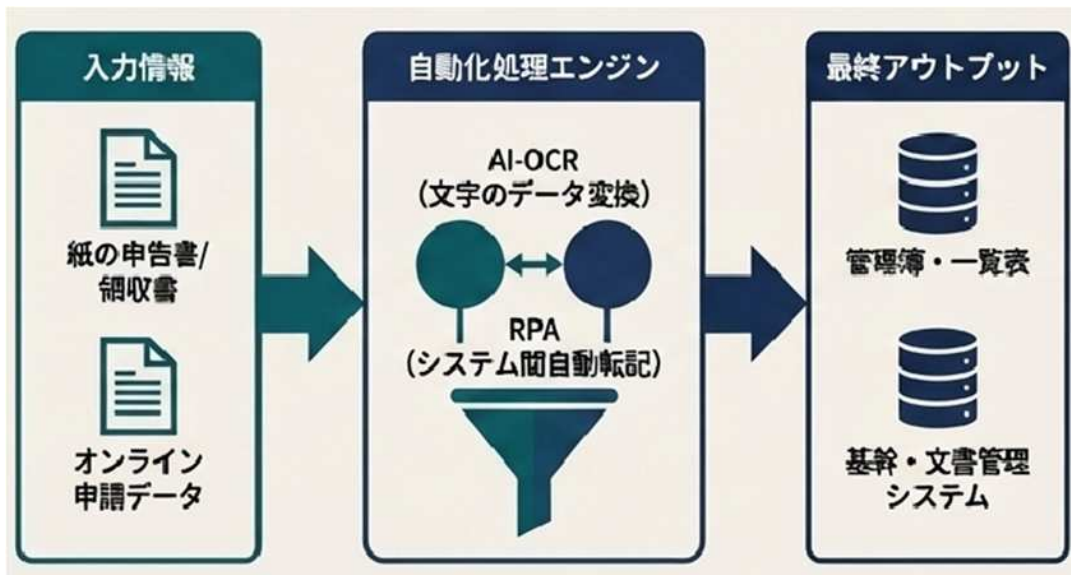


担当課	方向性	令和10年度目標値
都市計画課	建築確認申請事前調査報告書、定住促進補助金申請のオンライン化	報告書60% 補助金90%
町民課	マイナポータルでのパスポート申請	90%
税務課	特別徴収の異動関係の手続のオンライン化	50%
健康・保険課	母子手帳アプリでの妊娠届提出	100%
人権教育・啓発課	所管の町民センターのキャッシュレス決済利用率の増加	全体の15-20%
商工振興課	セーフティネット保証認定申請のオンライン化	80%

バックヤード改革 AI-OCR/RPAの活用

目指す方向性：定型作業を自動化、人は付加価値業務へ

オンライン申請フォームで受付できなかった紙の申請書や領収書などをAI-OCRで読み取ってデータ化し、RPAやプログラムでシステムへ自動転記。入力ミスを防ぎ、事務処理時間を大幅に削減します。



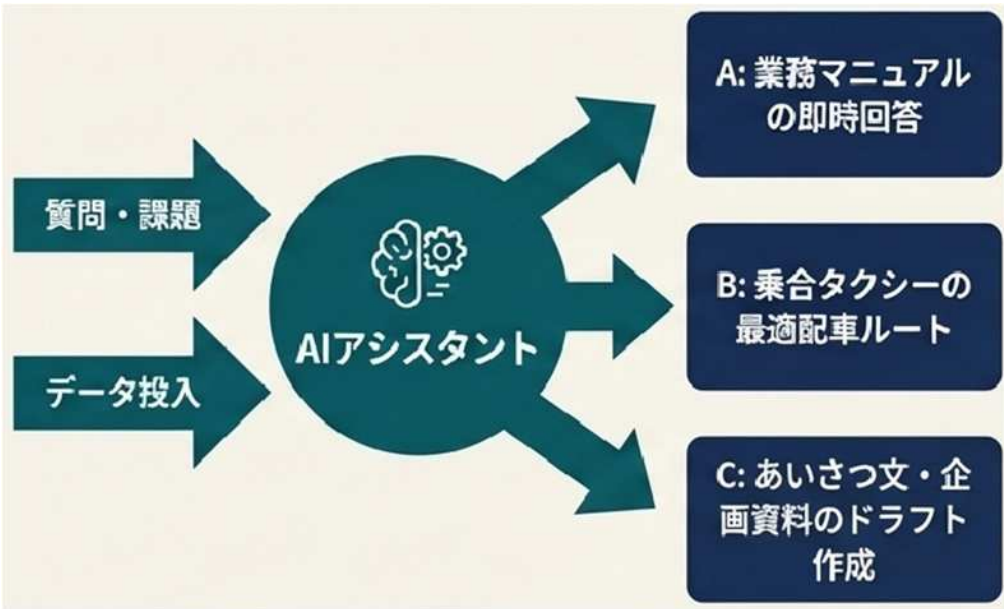
(画像はNotebookLMが作成)

担当課	方向性	令和10年度目標値
総務課	人件費データ（共済・年金・雇用保険）作成を自動化	自動化率60%
税務課	償却資産申告書をデータに変換しシステムに取込み	300件
介護保険課	家族介護用品購入費助成申請に必要な領収書の確認を自動化	申請の6割
町民課	マイナンバーカード管理簿への入力を自動化	自動化率80%
健康・保険課	手書きの健康診断申込書をデータ化しシステム入力を自動化	自動化率100%

バックヤード改革 AIの高度活用

目指す方向性：AIを職員の業務を支えるアシスタントへ

単なる作業の自動化・効率化を超えて、AIを知的サポート役として活用。複雑で膨大なマニュアルから即座の回答、あいさつ文や企画資料の素案作成などで、職員のパフォーマンスを最大化します。



(画像はNotebookLMが作成)

担当課	方向性	令和10年度目標値
総務課	業務における生成AIの利用率向上 (利用者/職員数)	利用率60%
総合政策課	乗合タクシーの配車調整にAIを導入し乗合率を上昇	R7比25%増
町民課	業務マニュアルをAIに取り込み、紙マニュアルを廃止	紙マニュアルゼロ化

D X時代の人材育成

目指す方向性：職員総デジタル人材化

デジタル3原則やサービスデザイン思考などDXの基礎となる考え方を身につける研修を全職員に展開。DX推進リーダーやDXアドバイザーが業務改革をけん引して、業務改革の好循環を生み出します。



(画像はGeminiが作成)

担当課	方向性	令和10年度目標値
総務課	DX推進リーダー及びDXアドバイザーの育成	計72人
総務課	全ての職員にDX人材育成研修を実施	全正職員基礎編参加済
総務課	BPR取組の伴走支援を実施し、自ら改善する機運を醸成	累計50業務